

3市共同資源化事業基本構想（案）に対する主な意見・質問等と4団体の考え方

●意見交換会で出されたもの

<小平会場>

No.	意見・質問等	4団体の回答
1	3市共同資源物処理施設について、資源物の選別方法が手選別となっているが、作業員の労働環境はどうなっているのか。	選別する場所では、臭いだけではなく粉じんも発生するので、コンベア上にダクトを設置して室内空気を吸引し、作業員が直接汚れた空気を吸わないような方式を考えている。
2	指定袋での収集となっているが、新たな袋を作って配布するのか。	東大和市は有料化されるので指定の袋となる。
3	建設費が13億となっているが、補助金・交付金・各市の負担額の内訳はどうなっているのか。	概算で費用を出しているが、国の交付金が約3分の1、残りの3分の2のうち約75%～90%が起債（借金）で15年間で返済する。残りを3市が負担する。3市の負担割合は、現状の衛生組合の負担割に基づくと、搬入量の割合によって負担する形となると思うが、今後協議していく。
4	資源物処理施設もそうだが、その後の不燃・粗大ごみ処理施設、焼却施設についても、市民の理解を得られるような方法で進めていく気持ちはあるのか。	住民の理解は、もちろん建設のときも大事だが、それ以降についても非常に大事である。どういう方法を選択するのか検討するが、非常に重要な点であり、十分考えていきたいと考えている。
5	ペットボトルと容器包装プラスチックの2品目にした理由は。	容器包装プラスチックとペットボトルは、資源物の中でも量（嵩）の多い基幹的な2品目であるため。
6	ペットボトルの回収を行わない自治体が増える中、まだ行政での回収は必要なのか。	ペットボトルは確かに、各市で店頭回収等を進めているということは理解しているが、それで全部がなくなるわけではなく、残りのものについては、やはり行政で処理をしなければならないと考えている。
7	環境保全計画の中の公害防止基準で、関係法令とあるが、具体的にはどのようなものなのか。	水質については東大和市の下水道条例の污水排除基準、騒音・振動・悪臭については東京都の条例である都民の健康と安全を確保する環境に関する条例の規制値がある。
8	規制の適用を受けない項目で自主管理基準を設けとあるが、設定に当たり、具体的に参考にするものはあるのか。	環境基本法に基づく大気汚染に係る環境基準のうち、有害大気汚染物質に係る環境基準を参考にする。

9	VOC対策として、吸着方式と酸化分解方式を効果的に組み合わせた除去設備とあるが、表現があいまいである。具体的にどうするのか。	八王子市では、活性炭による吸着及び光触媒という方式を取り入れて、酸化分解をしながら吸着除去している。光触媒も数種類あり、活性炭についても炭素以外にもゼオライト等色々な物質がある。また、添着炭等色々種類もある。こういうものを研究してより効果の高い組合せを選択する方法を考えている。
10	VOCの濃度について、周辺環境に影響を与えない濃度とは具体的にどの程度なのか。	VOCの発生原因となるものは、発泡スチロールの発泡剤やヘアスプレー等に使われる噴射剤になる物質とアルコール（エタノール）が8割強である。ブタンやペンタンなど発泡スチロールの充填剤や、エタノールについては発生する。ただし、それは無害な物質であり、それを取り除いたものはほとんど環境大気と同程度である。環境大気を取り込み、処理することになるが、基本的には、周辺環境の健康への影響はないと考えている。
11	現状の濃度と施設稼働後の濃度の比較等を行わないのか。	スケジュールでも示したが、環境影響調査を行う。まず評価項目を決めて、現状でそれが周辺にどのくらいあるかの調査を行う。それから施設からの発生量を予測して影響を評価するという手順で進んでいく。調査期間を18カ月と今見込んでいるが、その評価については公表する予定である。
12	建設反対派の周辺住民の納得を得られるような努力をしているようには見えない。今後は理解を得られるよう繰り返し説明をしてもらいたい。	<p>施設の地域住民の方を対象に施設整備地域連絡協議会を設置している。平成26年2月から設置して、これまでに4回ほど会議を重ねている。反対の方もいる中で協議を進めているところであり、反対の方々に対しても丁寧な説明を続け、少しでも反対の意識がなくなるように努めていきたい。</p> <p>やはり、施設の影響を一番受ける周辺地域の方々との話し合いが一番重要であり、丁寧な説明をするために取り組んできた。協議会では、毎回資料を提出し意見を伺っている。基本構想についても説明をさせていただき、意見を伺っている。今後も粘り強く理解を得られるよう繰り返し説明をして進めていきたいと考えている。</p>

13	資源化施設について、施設を建設しても今より増える資源化量は小平の軟質系のみである。3市が現在行っている資源化コストと、施設建設後の資源化コストが比較できないため、必要性について疑問がある。	コストの見方はいろいろあるが、この施設を作ることによって今後喫緊に更新をしなければならぬ焼却施設や粗大ごみ処理施設をかなりコンパクトに出来ると考えている。そういう点からも全体的なコストパフォーマンスについてはこれからも十分に検討していく。
14	資源化基準の統一の方向はどうなっていくのか。	3市の中では、施設の処理量の関係から、小平市が軟質系の容器包装プラスチックが資源化できていないが、今後は、細部にわたって統一することにより、広報、PRも3市と組合が一体となることができるので、そういう面でもいろいろと調整をしていきたい。
15	この3市共同資源化事業や各市のごみ処理について、あまり関心を示さない市民に対してもわかりやすい広報をしてほしい。	今後の広報については、ご意見として十分参考にさせていただきたい。
16	今後、ペットボトルの店頭回収等が進んでいくことが想定され、行政での資源化は必要なくなると思うが、その点も踏まえて、近隣住民に説明をするべきである。また、なぜ行政では、資源化施設建設というような、拡大生産者責任に反する施策をとるのか。	ペットボトルの回収を民間でやる等の取り組みは別途進めていくが、この現状の中で、5年ぐらいの間にペットボトルが全て店頭回収されるという見通しはない状態である。それとあわせて、国で進めている容器包装プラスチックのリサイクルでは、現時点でペットボトルも対象品目になっているので、これについては進めていく。そういうことで進めているもので、この資源物処理施設で資源化を行うことがこの3市の中で安定的に資源物の処理を進めていく最良の策だと考えている。

<東大和会場>

No.	意見・質問等	4団体の回答
17	今後のごみ処理の方向性について、まず焼却施設の規模や能力が決まってから、その能力に応じて資源化施設の必要性を考えるべきであり、順番が逆だと思う。	ご意見として伺います。
18	現在の資源化コストと施設建設後のコストの比較がされていないので、必要性が感じられず、有料化についても足並みが揃ってないなど、建設ありきのこの計画については納得できない。	ご意見として伺います。

19	周辺住民の理解を得たうえで建設するという市長の意見と、今後のスケジュールの進め方について疑問がある。	ご意見として伺います。
20	喫緊の課題と言っているが、遅らせたのは行政側である。	ご意見として伺います。
21	ごみの有料化やペットボトルの店頭回収等、施設建設の前にもっと努力することがあるのではないか。それからでも遅くないのではないか。	ご意見として伺います。
22	安定的に処理するためと言っているが、熱処理で、ペットボトルなどの燃やすごみが足りないと聞いている。	ご意見として伺います。
23	施設を建設するための借金の返済はどうするのか。市でやることだから、結局は市民に負担をかけることになる。	ご意見として伺います。
24	地域連絡協議会で説明していると言っているが、ただ一方的に理解してくださいと、こちらの意見を全然取り入れていない。この基本構想案は白紙撤回して一からやり直す必要がある。	ご意見として伺います。
25	メーカーや販売店での店頭回収等、各市の取り組みはどうなっているのか。 また、小平市と武蔵村山市は現在どういう処理を行っているのか。東大和市に持っていかなければならない理由があるのか。	<p>【小平市】店頭回収の取り組みは当然進めていかなければいけないと考えている。しかし、全て店頭回収でできるものではない。残ったものは、行政回収をする必要がある。そういう取り組みも進めながら、店頭回収できなかったものをどうするか、燃やしてしまえばいいというような意見もあるが、国で進めている容器包装リサイクル法に従って、その処理を進めていくということを3市では選択をしたものである。現状では、リサイクルセンターで処理をしているが、プラスチック類が増えてきており、今の能力では軟質系のプラスチックを処理できない状況である。よって、焼却しているが、この資源物処理施設ができた場合、軟質系もリサイクルができることとなり、市民一人一人がごみを減らすための自主的な取り組みができると考えている。そういう環境が整った時点で、有料化についても進めていきたいと考えている。</p> <p>【東大和市】ペットボトル等については、市内の</p>

		<p>大手のスーパーではもう既に回収しており、分別ガイドにもスーパー等の記載をし、周知に努めたいと考えている。小さな店舗については、回収する場所の問題等があり、難しいという状況である。また、現在の東大和市の処理方式については、ペットボトルは、桜が丘にある暫定施設でまとめ、容リ協会に出している状況であり、容器包装プラスチックについては、武蔵村山市の民間事業者へ搬入し、汚いもの等は取り除いて、容リ協会に搬出している。</p> <p>【武蔵村山市】ペットボトル等の回収については、大手各事業所に回収のお願いをしている。市内には大手のスーパー等があり、独自に回収をしているところもある。そのほか、発生抑制と3Rの推進については、事あるごとに市民にお願いしているところである。</p> <p>また、資源物の取り扱いについては、金属、プラスチック、容器包装プラスチック、ペットボトル類を、武蔵村山市の清掃事業協同組合に持ち込み、分別等の処理を事務委託として実施している。</p>
26	東大和市の場合、ペットボトルはどこで店頭回収しているのか。	市内ではイトーヨーカドー、いなげや、たいらや、ヤオコー、奈良橋にあるエコス、オリンピック、上北台の駅前のコープ、こういったところで今現在行われており、店舗の一覧表は分別ガイドにも掲載予定なので、そちらを参照いただきたい。
27	東大和市では、大手のスーパーだけでなく、ドラッグストアでも回収を進めてほしい。	ドラッグストアについても、ぜひやっていただきたいと考えており、今後働きかけをしていきたいと考えている。
28	もっと地域の小売店にも回収について働きかけてほしい。	近いところで買って近いところへ持っていければと考えている。なるべく協力していただけるよう、引き続き努力したいと考えている。
29	財政的な負担はどうするのか。各市の負担割合、返済計画はどうなるのか。地域住民の理解が得られない場合、国の交付金が出ないはずだが、その場合はどうするのか。	3分の1を国からの交付金、3分の2を3市で負担する。その3分の2のうちの75%から90%がいわゆる起債と言われる借金であり、残りの金額をそれぞれ3市で負担していただくということになる。借金の部分は15年返済で、毎年少しずつ返していく予定である。3市の負担割合は、

		おおむね衛生組合での負担割合は投入割、搬入量での負担である。資源を多く出すところは多く、少ないところは少なくという形で案分することを考えている。
30	この場所に決まった経過が不明である。また、3階建てになった理由は連絡協議会で説明があったが、もっと広い敷地があれば、3階建てにする必要はなく、コストも安くなったのではないか。建設コスト等も比較して、建設地を決めるべきである。	ご意見として伺います。
31	廃プラ施設が出来て減るごみは、現在焼却されている小平市の軟質系のプラ、約千トンだけである。千トンを減らすためになぜ資源化施設を建てるのか。また、この基本構想は、2階建ての予定が3階建てになっている等、昨年2品目にした場合の内容が反故にされている。今後も行政側の都合で変更される恐れが多分にあり、この基本構想は認められない。	ご意見として伺います。
32	この意見交換会の趣旨は。	基本構想（案）ができたので、その説明をすること、その中で色々な意見をお伺いすること、わからないところについて質問をいただき、お答えするのが目的と考えている。
33	この基本構想案にはビジョンしかなく、具合的なものが何も書かれていないので、意見としては反対である。	ご意見として伺います。
34	この計画は、東大和の市議会で否決された事実があるのに、覆されている。なぜこのような経緯になったのか。	平成22年の市議会の決議ということで、撤回を含めた検討をという決議がされている。そして、東大和市としても庁議でそれを決定し、市として引き受けられないという意思表示をした。その当時は6品目をあの場所ということだったが、焼却施設の更新が、もう待ったなしの状況で、3市の資源化施設ができないと、それと粗大ごみの施設と3つの施設は一体のものだという4団体での考えがあり、そこができないと焼却施設も更新ができないという認識があった。その中で、東大和市としても、22年の決議を尊重する中で、打開策を検討し、4団体の中で2品目で了承を得て、市としてはそちらの施設に2品目の施設を作

		<p>っていくと。市長も、拡大生産者責任ということで、できれば行政が回収をするべきでないという基本的な考えを持っていなかで、そちらの方向に進めたいという考えはあるが、今すぐそれができるとい状況ではないので、そちらを視野に入れながらも、現状では3市資源物処理施設を作って、それを反映したところで焼却の施設も更新していくという考えである。</p>
35	<p>この基本構想案にたどり着くまでの比較検討の状況について教えてほしい。</p>	<p>まず、比較検討というよりも、ごみとして処理するものを減らしていこうという観点で、焼却する方法と、資源化する方法があるが、4団体では資源化する方を選択している。そして、資源化する場合、民間委託と、今提案している公設で行う方法とがあるが、これについても検討の過程では、安定して継続してやっていくためにはやはり公設がいいということが1つ。それから、啓発機能、いわゆるプラザ機能、環境学習、リサイクル広報等、環境に関する啓発機能を持った施設としても公設でないといけないので、公設としたものである。焼却か資源化かについては資源化を、そして資源化については公設でという判断、検討をしてきた。コスト比較もしていないという、それから具体的な内容がわからないという部分の指摘があるが、そうした検討の過程である。ほかの方法とのコスト比較によって今の公設の内容を決定したというものではない。</p>
36	<p>この構想案は、場所や業者委託等について比較検討もしないで作ったものということが、市民の不安をあおっているのをわかっていない。このままの状況でまだ進めるつもりなのか。</p>	<p>この事業の発端は、処理施設の更新問題であり、焼却施設をどこに作るかということ。しかし、現有の用地の中で新たに同規模の施設を作るのはかなり厳しく、どうすれば減量化できるかがまず最初であった。多摩地区は、日の出町にある最終処分場に搬入しているが、二ツ塚の前の谷戸沢というところが、10年程ですぐ一杯になってしまいう、今までと同じような経過でごみを搬入したら、最終処分場もすぐなくなってしまう。その中でどう延命化するかということで、1つは焼却灰のエコセメント化、それとともにごみそのものを減らそうということで、有料化をはじめとするご</p>

		<p>み減量施策を各市とってきた。そういった中で、この3市については、26市の中では若干有料化の施策については遅れている状況である。ごみの減量化はある一定程度、店頭回収でペットボトルの量を減らすなど、そういった努力を併せて行い、プラスチック類の増加を食いとめるというところは考えているが、なかなか目に見えて減らない。そうすると、やはりリサイクルするしかない。そういったところで資源物の処理施設の建設し、粗大ごみや焼却される資源の量を減らそうということである。なぜ施設の場所を東大和に決めたのかというのは、焼却施設、粗大ごみは小平が担当していて、し尿については武蔵村山がやっていると。では、東大和市はどうだろうかというような相談がその当時あったのではないかと推測はしている。その中で、東大和市でどこかいい場所はないかなといった中で、想定地として出てきたのではないかと思う。</p>
37	<p>過去の経過でここに建てることになった説明についてはわかったが、昔の事だからよくわからないという事ではなくて、これから建てようとするものについては、そこに対する裏付けと比較検討、きちっとしたプロセスを踏んでいかないと、住民の理解は得られないと思う。東大和市は、まちづくりについてどのように考えているのか、なぜあの場所なのか。</p>	<p>理事会の中で想定地が好ましいだろうということで、今の想定地でという決定をしたという事実はある。そして、市のまちづくりとしては、桜が丘の地域は市内で数少ない工業地域であり、従前は大きな工場もあり、小さな工場もたくさん集まっている地域だった。その後、工業地域の中に建てるのが可能な高層マンションが増え、今は周りは非常に高層マンションを中心とした個別住宅、広い敷地の優良な宅地が供給されているエリアと考えている。工業地域という縛りもあり、施設用地としたが、建てる段階ではその周辺の地域の環境に配慮した施設を作るという基本的な考え方である。</p>
38	<p>東大和市長が、否定ばかりしないで代替え案を出してくれと言ったと聞いているが、だったら、そういう場を提供してほしい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
39	<p>近隣住民は、平成20年にこの計画を初めて知らされたと言っているが、もっと前に聞いており、ずっと出ていた問題である。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>

40	東大和市の積極的参加で、3市で計画を作ってきたはずなのに、突然受け入れられないという発言をしたのは、行政の基本姿勢として間違っただと思う。	ご意見として伺います。
41	東大和市は、自分たちが協議してきたものを、受け入れられないという発言をしておきながら、市民としては、今後も3市でやっていってほしいと言える立場にはない。	ご意見として伺います。
42	容器包装リサイクルについても、武蔵村山の業者をお願いしているが、周りに食品工場も沢山あり、それは委託だからいいとは言えない。	ご意見として伺います。
43	自分の出したごみに自分で責任を持たなければいけないという基本姿勢に立ち、東大和市でやるしかないと思っている。	ご意見として伺います。
44	施設については、安全にきちっと運営してほしい。	ご意見として伺います。
45	どんなに効率のいい焼却炉が出来たとしても、リサイクルは進めるべきである。	ご意見として伺います。
46	協議会は機能していないようであるが、もう少し機能するように協力してほしい。	ご意見として伺います。
47	ごみは本来なら市がやるべきではなく、生産者責任があると言う趣旨はわかっているが、現状のごみの状況を見る限り、一步前に出なければやっていけないと思う。今日の説明を聞いておおむね理解できたと考えている。	ご意見として伺います。
48	ごみの有料化について、小平市と武蔵村山市は、議会で反対されているようだが、平成30年度くらいに有料化することは出来るのか。	【小平市】ごみの有料化については、多摩各市が取り組んでいると認識しており、有料化していない数少ない自治体であるということも認識している。小平市が有料化してないなら、この施設をつくる前に先に有料化ではないのかという話があるが、市の考え方としては、有料化をする前提として、市民の方々が自分のごみを減らす努力が出来る環境を整えないと、なかなか有料化というものには提示できないと考えている。小平市は、リサイクルセンターの処理能力が一杯になっており、軟質系プラスチックについては、やむを得ず焼却している。その問題が解決しないと、有料化をしても、やはり減らす手段がないのに有料化するとい

		<p>うことはなかなか説明できないということもあり、その環境を整えるほうが優先しているということである。したがって、有料化自体について検討していないのではなく、将来的に検討して取り組んでいくということである。</p> <p>【武蔵村山市】本年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画の中にさまざまなごみ処理に対する施策が載っているが、発生の抑制と排出抑制ということで、3Rの推進等々さまざまなものがある。その中の1つとして家庭ごみの有料化の導入も検討するべきであろうということ、基本計画の中では、さまざまな課題、問題等を整理した上での導入目途ということ、平成30年という数字が出ているところであり、それを市としては視野に入れて、今後取り組んでいきたいと考えている。</p>
49	<p>この施設は必要不可欠な施設と言っているが、小平市の環境部長が、議会答弁の中で、小平市のリサイクルセンターは老朽化しているので処理能力がギリギリまで来ている。そのために3市共同資源化事業に取り組んでいると言っているが、小平市では処理できないから、自分の所のごみを東大和市で処理するという事なのか。</p>	<p>小平の事情としてはそういう面はあるが、最も大きい理由としては、40年以上ずっと中島町の焼却施設で3市のごみを処理しているが、これが永遠に続くということはないわけで、3市広域的に処理するということは3市の中で応分の役割分担をするということだと考えており、今後、小平にある焼却施設の更新の時期を迎えた場合、各市で候補地を出して進めるということをおっしゃっているので、そういうことで進めるということもあっていいとは思いますが、今からそういうことをしていくと、過去の他の自治体等の例を見ても、10年、15年、20年かかるわけであり、そんな時間はないと思っている。したがって、現実的な話とすれば、今施設のあるところで更新をするためには、今よりも負担の少ない施設にする必要があると。そのためには、やはり資源物処理施設というのはどうしても必要だということ、3市が一致したので、この事業をトータル的に進めているということ、これをぜひ理解していただきたい。</p>
50	<p>以前、小平市長が、サーマルリサイクルはダイオキシンが怖いのでやらないといていたが、</p>	<p>確かにサーマルを採用しているところもある。23区では11区が資源化、12区が焼却を選択し</p>

	<p>高温で焼却し、急速に冷却すれば問題ないはずである。現在の小村大の焼却施設でも問題ないと認識している。サーマルリサイクルを進めた方がいいのではないか。</p>	<p>ているという状況である。どちらが正しいという絶対的な方法がないというのが現状である。ただ、3市と組合は、現状の組合施設でごみとして処理する量を減らしていこうというところで一致して、サーマルではなく資源化を選択した。この資源化の方法は容器包装リサイクル法、受益者負担でやるべきだという意見もあったが、ごみとして処理するサーマルの方法を採用すると、全て納税者が処理費用を負担するということになる。現状では資源化のほうがコストはかかると思うが、容り法に基づく資源化を行うと、再商品化義務は製造者また使用者のほうに移る。なので、単に減量されるのが千トンだという話があったが、サーマルにしない、ごみとして処理しないで容り法に基づく資源化を進めていくということは大きな受益者負担につながる一つの道筋でもある。</p>
51	<p>現在、リサイクルできるものとそれ以外のものを一緒に集めているが、リサイクルするのであれば、それだけ別に収集すればいいのではないか。</p>	<p>ご意見として伺います。</p>
52	<p>平成15年からこの話がでたということだが、10年以上も経って、地域の住民を納得させられないのは、施設を建てる正当な理由がなくて説明できていないことと、この場所を選んだ理由も正当な理由がないからちゃんと説明しきれないからみんなが納得できないのではないか。</p>	<p>検討の結果、今の構想（案）が出来ているので、微調整は出てくるとは思うが、再検討は考えていない状況である。しかし、まだ計画がきちっと決まる前、全てが決まる前から、こうやって、立地場所を想定地として決めたり、おおよその概算の事業費なり施設の姿が出てきたものを構想（案）で説明をしたいということで、逆に不安を煽っているというご指摘もあるが、残念ながら、そういういわゆる迷惑施設だということは認識しており、だからこそ、説明をしながら進めていきたいと考えている。</p>
53	<p>東大の柳沢名誉教授が、今はプラスチックは燃やした方がよい時代だと言っており、自分もそう思うが、10数年前に検討した時と技術的なことやごみの量も変わっていると思うが、再検討はしているのか。</p>	<p>検討した結果が構想（案）である。燃やす方法、資源化する方法、どっちが絶対的に正しくてどっちが間違っているということではない。3市では3市地域の状況から、燃やさない資源化をする方法を選択しているため、この構想の中で事業を進めさせていただきたい。</p>

<武蔵村山会場>

No.	意見・質問等	4団体の回答
54	<p>ごみを少なくする取組みを3市は考えていると思うが、やはり有料化が特効薬だと考えるが、各市の取組みはどうなのか、また、3市に違いがあった場合、衛生組合はどう指導・協議をして進めていくのか。</p>	<p>【小平市】有料化については、東大和市がこの10月から行うということが決定している。小平市では、今年度から9年計画の一般廃棄物処理基本計画を策定し、その中で、有料化についてもごみを減量化する一つの有効な方策として今後取り組むべき政策として掲げている。具体的には、有料化をする場合は、市民の皆さんが減量の努力をしたものが報われるということが大変重要と考えており、そのためには、資源物を処理できる環境が整い、資源を分別することによりごみを減らせるようになり、最終的に残ったごみについて有料化するという仕組みを構築する必要があると考えている。今、小平市では、リサイクルセンターの処理能力の関係で、軟質系プラスチックについては、資源化することができない状態になっている。その問題が解決しないと、やはり減らす手段がないのに有料化するという事は難しい。ここをまず解決する必要があるということで取り組んでいるのが、この3市共同資源化事業である。その環境が整った時点で、小平市も有料化の検討をしていきたいと考えている。</p> <p>【東大和市】今年の10月から可燃ごみと不燃ごみ、また容器包装プラスチック、この3点について有料化をする予定で準備をしている。それとともに、有料化の前段として、8月から、戸建ての住宅が中心になるが、戸別収集も行う予定で今準備を進めている。これにより、多摩地区において、東大和を含めると22の自治体で有料化が進む。従前の自治体の状況を見ると、10%から20%程度の減量に至っていると聞いているので、東大和市としても、ごみゼロプランというプランがあり、それに向けて減量を進めている状況である。</p> <p>【武蔵村山市】ごみの削減というのはこの自治体でも非常に重要な課題になっている。発生の抑制や、排出の抑制ということがもちろん大切ということで、今年の1月から使用済みの小型家電の</p>

	<p>回収を実施したり、従前燃えるごみ等を出していた縫いぐるみや靴、かばん等を資源化ということで回収するようにした。また、今年の10月からモデル地区を定めて、100世帯程度を予定し、ごみの減量化堆肥化事業等を進めている。そのような施策を講じながら、ごみの減量化に努めている。また、今年の3月に策定した一般廃棄物処理の基本計画の中で、一般家庭ごみの有料化については、平成30年度を目途に進めていこうということで、これに向けての課題や問題の解決を進めながら今後検討していきたいと考えている。</p> <p>【衛生組合】 3市のそれぞれの施策を説明したが、衛生組合としては、中間処理の施設を担当しているため、そういう立場から協力する、一緒にやっているという状況である。いかにごみを減らすかという面では、今説明した3市共同資源化事業というのは、3市がそれぞれ努力されてきたことのさらに延長線上で、今度はスクラムを組んで、3市と組合の4団体で一緒にやっていこうということであり、その中でごみに関するPRや減量化施策を一緒になって考えていきたい。</p>
--	--